

# 子供たちが地域で学び育つための“つなぐ力” しのはらスーパーサポーター

## 神奈川県横浜市

### 活動名

しのはら学校支援地域本部

### 関係する学校

篠原中学校・篠原小学校・篠原西小学校  
港北小学校

活動区分	※H25年度の実績(補助の有無についてはH26年度の状況)			
	土曜日の教育活動	コーディネーター数	子供の平均参加人数	開始年度
学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	補助の有無
	10人	610人	21年度	有
放課後子供教室	コーディネーター数	子供の平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
	実施場所		開始年度	放課後児童クラブとの連携
コミュニティ・スクール	指定日	委員数	児童生徒数	学級数

### 活動の概要

「しのはら学校支援地域本部」は、学校の教育活動を支援するために、平成21年度に篠原中学校に組織された。学校支援ボランティアなどへの積極的参加をコーディネートするもので、地域住民が学校を支援するこれまでの取組みを、さらに発展させて組織的なものとし、学校の求めるものと地域の力をマッチングしている。平成24年度には、篠原中学校区（港北小学校、篠原小学校、篠原西小学校）で子供を育てると同じ目的のもと、組織的かつ効果的な学校支援の充実、教育の充実を図ることができるよう、活動を続けている。

- 1 図書ボランティア交流事業：篠原中学校区の図書ボランティアが集まり、情報共有を行う。
- 2 キャリア教育：中学2年生で行う、職場体験の事前・事後学習のサポートや、中学1年生で行う職業講話「職業人に学ぶ会」を開催。
- 3 学校と地域をつなぐ地域連携行事への参加の呼びかけ(1)リアル熟議：地域・企業等関連団体及び小学生、中学生の参加により、地域の課題について意見を出し合った。(2)すこやか祭り：すこやかサークル（幼・保・小・中・高・養護・自治会・町内会連携事業）主催によるお祭りへの参加・呼びかけ、また連絡調整の実施。(3)音楽交流会：近隣の高等学校（岸根高校）吹奏楽部、篠原中学校吹奏楽部を中心に、さまざまなゲストとともに、音楽を通じて地域交流を図った。
- 4 被災地支援活動(1)「しのはら仙台プロジェクト」の実施(2)心のきずな 61キャンペーン（募金活動）(3)仙台被災地交流ひまわり運動

## ● 特徴

### 【特徴的な活動内容】

■「しのはら仙台プロジェクト」H24.8/7～9の3日間、篠原中学校の生徒12人、教職員6人、プロジェクトメンバーが東日本大震災の被災地宮城県を訪れ、現地の中学生と意見交換をしたり、学習支援団体や教育委員会を訪問する取組。現地に赴いた生徒の報告発表の場として、地域防災訓練、近隣小学校PTA主催行事、近隣校文化祭等を設け、地域の防災意識の向上に寄与した。

■「ひまわり運動」しのはら仙台プロジェクトで持ち帰ったひまわりの種を、ボランティアの協力のもと育て、各小学校、家庭及び地域の関連団体等、中学校区のみならず周辺地域にも配布している。この「ひまわり運動」は篠原中学校生徒会とも協同しており、防災意識を高めることや被災地域の復興への願いと協力を継続していくことにつながっている。

■キャリア教育 横浜市に本拠地を置き、ホームグラウンドを日産スタジアムとしている横浜マリノスの協力を得て、こうほくサンクスマッチの際の運営に生徒が携われるようにしている。部活動単位で、ごみの分別、イベントを盛り上げるためのダンスの披露などを行い、生徒が地域に貢献できる場を提供し、支援本部のメンバーはその活動を見守っている。

### 【実施に当たっての工夫】

近隣小中学校児童・生徒をはじめ、保護者や、近隣にお住いの様々な職種の方、また、港北区内に拠点を置く企業、団体、その他高校、有志団体などにご協力いただいている。それぞれの特性を生かし、学校支援活動を行っていただけるようなコーディネートをすることで、組織的かつ効果的な学校支援の充実、教育の充実が図られている。また、平成25年度は、学校支援地域本部のキャラクター「しのサポちゃん」を採用するなど地域・学校にとって親しみのある活動にしている。

学校・家庭・地域の連携と幅広い関係者の理解と協力が、子供たちが地域で学び育つための「つなぐ力」となり、将来的に子供たちが地域を支える一人となることを視野に入れて活動している。毎年リーフレットを作成したりHPに活動状況を掲載したりすることで活動内容の情報発信を行い、様々な行事への参加を呼びかけている。それぞれの学校のニーズに応じて教職員の負担にならないように地域本部が連絡調整を行っている。

## ● 事業を実施して

「しのはら仙台プロジェクト」に参加した生徒たちが、実際に被災地の状況を自分の目で見てきたことで、防災意識や地域とのつながりをより意識するようになった。生徒自ら地域とつながるために何をしたらよいかと考えるようになり、「あいさつ運動」の提案などにつながっている。こういった生徒たちの思いを学校支援地域本部がサポートするかたちで、募金活動や「ひまわり運動」につながり、発展していった。

## ● その他

東日本大震災で犠牲となった宮城県石巻市立大川小学校児童の遺族が育てている「ひまわりのおか」より3年前にいただいた「ひまわりの種」は様々なところで力強く咲いています。本年度は次のような場所でたくさんのおかひまわりが咲いています。○港北小学校○篠原小学校○篠原西小学校○菊名小学校○大豆戸小学校○城郷小学校○県立岸根高等学校○マーマしのほら保育園○篠原幼稚園○トレッサヨコハマ(地域施設)。今年は新横浜駅前前で中学生ボランティアにより一般のかたにもひまわりの苗をさしあげました。この運動はこれからも広がっていくと思います。



心のきずな 61キャンペーン(募金活動)



仙台被災地交流ひまわり運動